

＜早稲田の本棚から＞館蔵資料紹介

寺山修司「虎のドドンパ 酔っぱらい天国主題歌」

400字詰原稿用紙6枚付図1枚（請求記号：稲門ライブラリー 所収）



本年7月、当館に寺山修司の資料が収蔵された。「寺山修司」の記名入り400字詰原稿用紙6枚（鉛筆書き）と虎の画（原稿と同じ表題。寺山のサインと印あり）である。原稿に記された歌詞全文（2～5枚目）と注釈（*印の付いた文章。6枚目）は下記の通りである（カギ括弧””は原稿用紙の区切りを示す）。

虎のドドンパ
酔っぱらい天国 主題歌
寺山修司

幕式がえりの
おばさんが
酒のみのみ 言いました
おのみなさいよ みなさんも
お酒はすてき
この世もすてき
酔っぱらっちゃったら
この世もすてき

ひとりひそかに
酔った奴は
女にふられた 学生さん
酔って線路にねころんで
あしたは 死んで
しまうだろ
ゆかいだゆかいだ
酔っぱらい もっとのめのめ
酔っぱらい

ふたりんみり
酔った奴は
はるばる寝落ちしたふたり
酔って泣き泣き抱きあって

こんやの 海へ
どびこむか
ゆかいだゆかいだ
酔っぱらい もっとのめのめ
酔っぱらい

三人こそこそ
酔った奴は
ひとを殺してきた工夫
酔って怒鳴って蹴飛ばして
あしたは どこへ
にげるやら
ゆかいだゆかいだ
酔っぱらい もっとのめのめ
酔っぱらい

四人わいわい
酔った奴は※
アベック同志の鉢あわせ
酔って相手をまちがえて
月夜の ベッドへ
もぐるだろ
ゆかいだゆかいだ
酔っぱらい もっとのめのめ
酔っぱらい

五人ばらばら

酔った奴は
アル中同志 虎同志
公衆便所で 血まみれて
飲み銭 奪い
あうために
ゆかいだゆかいだ
酔っぱらい 死んでものめのめ
酔っぱらい

のめのめ 酒を
酒のめのめ
酒は 三等入場券
だれでも 天国ひとめぐり
のめのめ 虎となろうとも
ターザンなんかいないんだ
のめのめ
のめのめ
のめや 酒

*各フレーズの「ゆかいだゆかいだ」の件りはコーラスにしてもよい、
と思います。
*レシタチフの部分はナレーション
スタイルでもよいかと思います。
*リズムは軽快なドドンパ調がのぞ
ましい。」

寺山演劇の代表作『奴婢訓』（1978初演）の劇中歌や、女優・緑魔子のヒット曲「酔いどれ船」（1970）等、数え唄は寺山が得意とする作風である。7つのフレーズで構成された「虎のドドンパ」も、酔っぱらいの醜態5つを描いた数え唄になっている。酔っぱらいをモチーフとした一幕劇、まさに「寺山ワールド」全開の作品である。※原文「酔った奴は」。「た」を補う。
（資料管理課 高木 理久夫）